

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>ただいまより令和2年度第3回入間市高齢者福祉審議会を開催いたします。はじめに、春名会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。</p>
春名会長	<p>(あいさつ)</p>
宇津木課長	<p>ありがとうございました。会議の進行につきましては、高齢者福祉審議会条例第8条の規定で会長が会議の議長となる旨が規定されておりますので、春名会長に議長として会議の進行をお願いいたします。</p>
春名会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。会議がスムーズに進行できますよう、委員の皆さま方のご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は、13名です。山崎委員、池上委員より欠席との連絡がありました。委員の半数以上の出席がありますので、条例第8条第2項の規定に基づき、会議は成立いたします。また、会議の傍聴については、ホームページ等で周知したところ、希望者がありませんでしたのでご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、福島委員、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、会議を始めます。</p> <p>議題「(1)入間市第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について」を議題とします。まず、「①策定部会の報告」をいたします。</p>
春名会長	<p>(策定部会の報告)</p>
春名会長	<p>それでは「②計画の骨子(案)について」、事務局より説明をお願い</p>

発 言 者	発 言 内 容
富田主幹	<p>します。</p> <p>資料1「基本指針について」、資料2「入間市第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画骨子案」説明</p>
春名会長	<p>ありがとうございました。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p>
森本委員	<p>資料2、各論第3章「就労的活動支援コーディネーター」の詳しい説明をお願いします。</p>
亀田主幹	<p>高齢者の社会参加と就労は介護予防、フレイル対策に有効といわれています。特に人との繋がりをもつことで、大幅にフレイルリスクを軽減させるといわれています。そういった中で、高齢者に就労的活動を提供したいと考える介護事業者や法人等と就労的活動ができる場所とマッチングさせる人材配置についていわれているものが、就労的活動支援コーディネーターです。</p>
春名会長	<p>他にありませんでしょうか。</p>
小林委員	<p>今後の高齢化社会を考えると、65歳以上の働き手が出てくると思いますが、反射能力等考えた場合、事故を起こした際の責任について、皆さんはどのように考えていますか。</p>
春名会長	<p>私も65歳を超えてから、躓いたり転ぶことがあります。それなりに工夫をしていかないと今のままでは厳しいと思います。</p>
小林委員	<p>ボランティアだと色々やることはありますが、働き手と考えるとどうなのかと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>ボランティアならできることをすれば良いですが、収入として働くとなると限界はあると思います。高齢になると今までできていたことが徐々にできなくなるので、ある程度のところで自分で察していかないと、肩をたたかれるようになってしまいます。また、就労のため車を使用することになると思いますが、運転には個人の能力に差があるので、運転能力の問題と併せてガイドラインをつくらないと危険です。コーディネーターの配置をするなら、ガイドラインにより本人にアドバイスできる体制をつくっていただきたい。特に就労の場合は、雇い側にいえる環境がないと何か起きた時に雇い主側の責任になる可能性もあるので。今ボランティアと就労の中間といった、ボランティア的就労があるので、そのようなもので考えていくのが良いと思います。また、ガイドラインでなくても、団体の取組を示すモデルケースが1つでもあればと考えます。</p>
春名会長	<p>他に、ご意見ありますでしょうか。</p>
澤田委員	<p>資料2、各論第4章「5 介護保険サービスの質の向上及び介護人材の確保」の内容に「④介護職の魅力の向上」とありますが、具体例がありましたらお願いします。</p>
亀田主幹	<p>介護職で就労している方は、お世話をした時にいわれるお礼の言葉に魅力があると聞いたことがあります。また、将来介護職の担い手になると考えられる小学生に介護職の魅力を周知することで、介護人材を確保できると考えています。</p>
田中委員	<p>介護職の魅力向上ということで、埼玉県では3本柱で取組を行っております。1つ目は、資格取得に対する支援を行っております。2つ目は、実際に介護施設で働くスタッフを公的な位置づけで県が任命し、高校</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>で、魅力を伝える活動をしています。小さいうちから介護の魅力を理解してもらうことは重要だと思うので、人間市でも学校単位で実践してもらいたいです。</p>
春名会長	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
原田委員	<p>介護職の魅力ですが、全国的に外国人の需要が増えていることを踏まえると、その中にあるのは魅力ではありません。皆無に近いと感じています。就労的な部分について、私は現役を退いていますが、仕事によって対価をもらう意識はありません。ボランティアを含めた中で、お互いに助け合うというような気持ちです。介護についても施設に入っている方で、体が不自由であっても、助けてくれる方には、お茶菓子代程の対価を支払う、地域にいる高齢者はそういった需要には積極的に動いてくれると思います。</p>
木村委員	<p>小林委員の就労に関してですが、一人ひとりがずっと就労していきたいと気持ちをもって努力をしていくことはもちろんですが、原田委員が仰ったように、仕事は対価をもらうという考え方に根付くと曲がってくるものがあると思います。仕事をするに対して、生きがいや、人の役に立つことに喜びを感じることを意識するならば、仕事に対する価値を見出す観点も加味してくれれば違う方向に向かうと思います。</p>
小林委員	<p>私が感じたのは、年齢とか身体状況に合わせて仕事はあると思いますが、車で仕事場に向かう際、事故を起こすと通勤災害になり、こちらが働き手としてよいと思っても、家族からはそうは見てもらえません。そのあたりが気になったのですが。</p>
中林委員	<p>65 歳以上の方は車の運転が鈍くなっているのは事実です。現在 65 歳の方は今年の 1 月から、安全運転サポート車の新車を購入すると軽自動</p>

発 言 者	発 言 内 容
松下委員	<p>車で7万円、普通車で10万円の補助があります。軽自動車も価格は高くなっていますが、古い車に乗っているより、思い切って車を替えるのも手段だと思います。安全はお金で買えません。通勤等で心配な方や古い車に乗っている方は検討しても良いと思います。</p> <p>就労的活動支援コーディネーターの話がありました。私は80歳を超えていますが、対価の問題でなく何らかの形で社会と繋がっていこうと思っています。その中で自分達が持っているものを社会で活かしていただければと考えます。対価を求めるよりも能力が発揮できる人を支援し、繋がりを持てば、素晴らしいものができると思います。</p>
田中委員	<p>皆様のご意見のように、年齢層が比較的に高い方の金銭的でない活躍は期待していますが、介護人材という大きな括りでいいますと、若い世代の支援としては、給与面も充実しなければ介護人材不足がでてきてしまうので、両輪で考えてほしいです。</p>
原田委員	<p>ひとり暮らしや高齢者世帯が増えており、それをデータで見ることができます。老老介護で相手を看取り残された方や、両親を看取った子どもがその経験を活かすため、施設に登録し対価をもらうシステムを行政が事業化すれば良いと思います。また、介護職OB等の登録制度をつくり、需要に対し賃金を支払う展開も考えても良いと思います。</p>
春名会長	<p>今後、計画の中身を詰めていくのに良い意見をいただきました。骨子(案)についてはよろしいでしょうか。</p> <p>次に「③総論(案)について」説明をお願い致します。</p>
富田主幹	<p>資料3「2計画策定の基本的な考え方」、資料4「第2章現状と今後の見通し 1地域包括ケアシステムの強化」説明</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名会長	<p>ありがとうございました。地域包括ケアシステムの強化となるには、どのような施策が考えられるのか、議論をしてくとともに、策定部会でも考えていきたいと思います。また、地域包括支援センターの機能を各論に盛り込んでいくことが必要だと考えます。</p> <p>何かご意見等ありますでしょうか。</p>
川名委員	<p>資料4の下部に、地域包括ケアシステムの図がありますが、現在、字が大きく簡略された分かりやすい図があるので、事務局に図の差し替えの検討をお願いしたいです。</p>
富田主幹	<p>検討させていただきます。</p>
松本委員	<p>資料4「令和2年6月、地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律が成立しました」とありますが、その内容を教えてください。</p>
富田主幹	<p>基本的には、資料1「基本指針について」で説明した内容が概ね入っております。改正の概要としては、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援、地域の特性に応じた認知症施策や介護サービス提供体制の整備等の推進、医療・介護のデータ基盤の整備の推進、介護人材確保の業務効率化の取組の強化、社会福祉連携推進法人制度の創設が載っております。これらを踏まえた形で、先程の基本指針ができています。</p>
春名会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
松本委員	<p>私は説明を聞いたので理解できましたが、これを読まれる市民の方は理解できるのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
宇津木課長	ご意見を頂戴いたしましたので、第2章の今後の見通しと、地域包括ケアシステムの強化というところで、法律の内容を盛り込みましたものを次回の審議会にて提案いたします。
春名会長	他に何かご意見等ありますでしょうか。
川名委員	資料4の地域包括ケアシステムの文章では、これまで行ってきたことは丁寧に説明してありますが、次期計画としての説明もしたほうが良いと思います。
春名会長	<p>「地域包括ケアシステムの強化」については、各論で触れられると思いますが、確かに総論に入れられるのであれば良いと思います。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。ないようですので、次の議題に移ります。議題（2）「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の見直しについて」説明をお願いします。</p>
富田主幹	資料5「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の見直しについて」説明
春名会長	ありがとうございます。何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。タクシー券は、初乗り運賃の500円で合わせるということでしょうか。
松本委員	今更になってしまいますが、これは支給する前提での話し合いで、この段階では事業をやめるということはないですね。だとするならば、私は少しでも自身で支払いをしたほうが良いと思います。
富田主幹	現状のタクシー利用券（600円/枚）は、1回の乗車で2枚まで使用することができますがお釣りは出ません。1,200円以上乗車した場合は2

発 言 者	発 言 内 容
	<p>枚を使用していただき差額分をお支払いしていただきます。もし1枚500円に変更になった場合は1,000円という形での利用となり、超えた分は現金で支払う流れになります。</p>
松本委員	<p>今まではワンメーターが720円で、タクシー利用券は1枚600円の支給だったので120円は現金で支払うことになっていましたが、今後は現金の支払いが発生しないところかどうかと思います。</p>
原田委員	<p>タクシー券は前回、前々回と論議していますが、タクシー事業者の不都合の部分があり、500円に設定してはどうかとあったと思います。また、タクシー事業者に手間があるとその清算に伴い役所の業務も拡大していくことが裏にあります。そのため500円で収まるようなシステムであれば色々な意味で軽減できると。私としては金額を増やしても良いと考えていますが、PDCAで問題提起された内容の解決ではベストだと考えます。将来的に見直しは必要ですが、基本的に500円で良いと思います。</p>
	<p>年間使われているのは、3,000万円弱程ですか。</p>
富田主幹	<p>2,500万円程です。</p>
澤田委員	<p>1枚500円で良いと思います。</p>
春名会長	<p>1枚500円ということで、皆様からご意見をいただきました。支給枚数はいかがでしょうか。</p>
澤田委員	<p>24枚で良いと思います。</p>
春名会長	<p>ありがとうございました。以上で入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の見直しについて、審議会の意見がまとまりました。1枚</p>



発 言 者	発 言 内 容
小林委員	<p>500 円、24 枚ということです。事務局には、本日出た意見を十分に反映する形で答申をお願いしたいと思います。</p> <p>委員の皆さま、他に何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>タクシー券を利用する要支援、要介護度の方はどのくらいでしょうか。タクシー券があることで外に出ることができたが、それがなくなってしまうと、訪問診療等に繋がっていくと思ったのですが。</p>
富田主幹	<p>要介護認定を受けた方を対象に展開している事業なので、各介護段階でも申請状況は違いますが、過去4年間の平均で、要支援1の方ですと、1,318名が認定されている中で1,115名が利用されています。4年間平均で見ますと介護認定を受けた方が6,603名で、その中で3,528名のご利用があります。</p>
小林委員	<p>高齢者の方の外に出る手段と考えると、他のサービスを利用するより良いと思いました。</p>
宇津木課長	<p>タクシー券を存続するのか廃止するのかということではなく、初乗り料金よりも配付しているタクシー券の金額が高くなり、お金を多く支給している状況になってしまったので諮問をさせていただきました。市として、この事業自体の廃止は現在考えておりません。</p>
春名委員	<p>それでは議長の座を降ろさせていただきます。事務局、宜しくお願いいたします。</p>
宇津木課長	<p>それでは、次第「4その他」に移ります。何かご連絡等ありますでしょうか。</p>
澤田委員	<p>私の地区のグラウンドの問題を話します。私は金子の花みずきの地区</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>になります。相続の問題でグラウンドがありません。そのため月1回、農村環境改善センターを使わせていただいております。農村環境改善センターは月に何度でも利用できますが、グラウンドの前に住んでいる方から、花みずきには月に1回しか利用させないと言われていました。そのようなことがあり、月1回やっとグラウンドゴルフを行っていますが、なんとか市に場所の確保、グラウンドゴルフができる方法をお願いしたいと思います。以前は日曜日に保育所の園庭で借りていましたが、新型コロナウイルスの影響で保育課から自粛の要請がありました。どうかこの件を改善していただければと思います。</p>
宇津木課長	<p>これは農村環境改善センターの使用方法の問題になると思いますので、農業振興課に話をして改善策を探っていきたいと思います。</p>
澤田委員	<p>先週も高齢者福祉課に依頼をしました。農村環境改善センターに行き話をしたとの経過は聞いております。</p>
宇津木課長	<p>その辺の経緯の含め再度確認をしまして、検討していきたいと思います。</p>
春名会長	<p>8月7日に入間市博物館において、ALIT お茶大学の一般課目の「狭山飛行場の記憶」の講義を受けました。2018年7月に広報でも載りましたが、それがNHKの教育テレビで、8月29日(土)の午後8時45分から午後9時まで取り上げられ放送されます。市内の狭山陸軍飛行場跡地の野菜のファームで、ろう者の方を取り上げた内容です。ゲストスピーカーとして、その方が登壇してご苦労などを語るといった番組のようです。お時間があれば観ていただければと思います。</p>
宇津木課長	<p>その他、何かありますでしょうか。では、私から2点報告させていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>① 前回の審議会で、「人生会議ノート」の現物を見たいとのご意見がありました。今回お手元に配付させていただきましたので、参考にさせていただければと思います。</p> <p>②次回の会議の日程は、9月24日（木）午後1時30分、市役所5階 全員協議会室で予定しております。内容につきましては、「入間市第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について」「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の見直しについて」答申案、「その他」を考えております。</p> <p>最後に中林副会長より閉会のご挨拶を頂戴したいと思います。</p> <p>（閉会あいさつ）</p> <p>～令和2年度第3回高齢者福祉審議会 終了～</p> <p style="text-align: right;">（以上）</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_